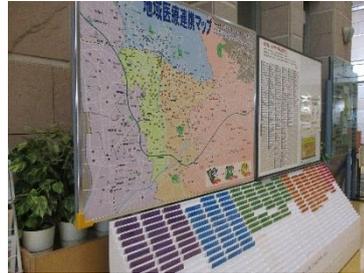


2022 年 7 月 15 日発行

- ☆★目次☆★
- 1、はじめに
 - 2、トピックス
 - 3、終わりに
 - 4、新着情報



1F エントランスホールに設置している地域の医院・クリニックのリーフレット

1、【はじめに】

～地域医療支援室からご挨拶～

早くから梅雨も明け、暑い夏空が続いておりますが、皆様にはご壮健にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

今月もメールマガジンをお読みいただきありがとうございます。昨年より少しずつですが、メールマガジンの登録数も増えてきています。7月号は「当院脳神経外科の紹介」です。今年度より新任の医師が2人で対応しています。

当院と地域の病院・クリニックの先生方、看護師さんとの連携を一層深めていきたい、ご要望やご意見・ご感想をお待ちしています。今後もよろしく願いいたします。

2、【トピックス】

脳神経外科の紹介

脳神経外科 科部長 川瀧智之

ごあいさつ

2022年4月より脳神経外科に赴任いたしました川瀧智之と申します。山梨医大平成4年卒で、今年で卒後30年、前任の山梨大学脳神経外科では、腫瘍チームのチーフとして臨床・研究・教育に関わってきました。特に、がん治療専門医として悪性脳腫瘍を専門領域としてきました。今後は、心機一転、脳神経外科全般に関して地域医療に少しでも貢献できますよう、誠心誠意、診療活動に精進する所存でございます。現在、卒後15年目の脳神経外科専門医の村山裕明先生と2人で診療にあたっております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1. 一次脳卒中センターとしての役割

当院は、一次脳卒中センターに認定されております。「一次脳卒中センター」とは、地域の医療機関や救急隊からの要請に対して、24時間365日、脳卒中や脳卒中を疑う患者を受け入れ、担当医師が、患者搬入後可及的に速やかに診療を開始できる施設です。脳内出血、クモ膜下出血、脳梗塞の症例について迅速な診断と治療を進めて参ります。

2. 急性脳梗塞の対応

急性期脳梗塞に対する静注血栓溶解療法として recombinant tissue-type plasminogen activator: rt-PA を用いた治療が標準化し、当院でも導入されております。より安全迅速に投与ができるよう神経内科の先生方とも連携して院内体制を整備しております。さらに、急性期血栓回収療法のエビデンスも確立してきました。より積極的な脳梗塞治療は、予後を劇的に改善できる可能性が期待されております。当院は、山梨大学とも近接しており、連携協調して、患者の予後改善に寄与できるよう best treatment を提供できるよう努力して参ります。

3. 脳腫瘍の診断と治療

私は、JCOG（日本臨床腫瘍研究グループ）脳腫瘍グループのコア委員として様々な治験の策定に関わって参りました。脳腫瘍といっても発生部位、悪性度、年齢、臨床症状などにより治療戦略は全く異なります。また、転移性脳腫瘍については、癌治療における分子標的薬の発展により治療選択枝が増え、最適な治療は症例ごとに異なるといっても過言ではありません。当院では、放射線治療も可能ですので、手術、化学療法・放射線治療などを組み合わせ各症例に応じた最適な治療法を提示いたします。より集学的な治療が必要であれば、大学病院、ガンマナイフ、サイバーナイフ施設を含め治療連携を図って参ります。

4. 頭部外傷

交通事故や転倒に伴う頭部外傷の患者が増えているかと思いますが、急性期の診断のみならず慢性硬膜下血腫などに対しても常時対応いたします。

5. 頭痛、しびれ、めまいなどの不定愁訴

頭痛、しびれ、めまいについては、不定愁訴ながら頭蓋内病変、脊髄病変、末梢神経障害などに起因していることがあり、精査が必要な場合もあります。積極的に外来に紹介いただければ精査した情報を迅速に地域の開業されている先生方にフィードバックさせていただきますので、いつでもご紹介ください。

6. リハビリテーション科やスタッフとの連携

当院では、リハビリテーション科専門医を中心に言語聴覚士、理学療法士、作業療法士が17名おり、入院後直ちに急性期リハビリテーションを開始しております。週1回、看護師長、病棟スタッフ、医療相談員らとカンファレンスを行い、患者情報を共有し治療プランを検討しております。

7. 外来診察

外来診察は、火曜日から金曜日の午前中に原則、予約制ですが、救急患者は常時対応させていただきますので、お気軽にご紹介ください。入院加療後、病状が安定した患者様は、ご紹介頂いた先生方への逆紹介も積極的に進めますので、どうぞ高配の程お願い申し上げます。

